光ファイバケーブルの整備（使用）計画についての注意事項

1. 「光ファイバケーブルの整備(使用)計画について」の記載と光系統図または、線路図の記載は互いに連続して対比できる様に記載下さい。

（片方との照らし合わせにおいて、他方が飛び飛びにならない様に注意願います。）

1. テープ数(例：4芯＝1テープの場合)について、「敷設芯数」、「補助対象未使用芯数」が4の倍数でない場合、以下のように申請して下さい。

　　　0~3芯　　　　　　➡　0テープ（０T）

　　　4~7芯　　　　　　➡　１テープ（１T）

　　　8~11芯　　　　　 ➡　２テープ（２Ｔ）

* ・
* ・

　　４×*ｎ*～４×*ｎ*+3芯　➡　*ｎ*テープ（*ｎ*Ｔ）

* + *n* =0, 1, 2, 3, ････

400芯以上のテープ数は、8芯＝1テープ数が一般的(仕様を確認して下さい)です。

８の倍数でない場合、以下のように申請して下さい。

　0~7芯　　　　　　➡　0テープ（０T）

　8~15芯　　　　　 ➡　１テープ（１T）

* ・
* ・
1. 備考欄に整備地域名(大字単位)を記載して下さい。（交付申請の整備地域内であることを確認できるよう記載下さい。）
2. 提出ファイル形式はExcelでお願い致します。
3. 整備表の整合性確認のために、下記項目には、数値入力をお願いします。

【該当項目：区間距離、敷設芯数、敷設テープ数、補助対象芯数、通信用、保守用、未使用、未使用テープ数、補助対象外芯数】